

## 政策評価（令和6年度）

政策評価調査

戦略1 産業・雇用戦略					
幹事部局名	産業労働部	評価者	企画振興部長	評価確定日	令和6年7月31日

## 1 戦略のねらい

社会ニーズを的確に捉え、成長が見込まれる産業分野への参入や新たな価値の創造に果敢に挑戦する県内企業を後押しし、本県産業の持続的発展と魅力ある雇用の場の創出を図ります。

## 2 施策評価の結果

施策	施策評価の結果			
	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)
目指す姿1 産業構造の変化に対応した県内産業の競争力の強化	c	c		
目指す姿2 地域資源を生かした成長産業の発展	c	d		
目指す姿3 歴史と風土に培われた地域産業の活性化	b	d		
目指す姿4 産業振興を支える投資の拡大	a	a		

※施策評価の結果:a、b、c、d、eの5段階で判定した結果

## 3 総合評価結果と評価理由

総合評価	評価理由
C	施策評価の結果を基にした定量的評価が「C相当（平均点2.00）」であることから、総合評価は「C」とする。

※定量的評価: 施策評価結果を点数化して平均点を算出し、A相当、B相当、C相当、D相当、E相当の5段階に判定する。

・施策評価結果の配点 a:4点、b:3点、c:2点、d:1点、e:0点

・判定基準(平均点) A相当:4点、B相当:3点以上4点未満、C相当:2点以上3点未満、D相当:1点以上2点未満、E相当:1点未満

※総合評価: 定量的評価を基本とし、定性的評価を考慮する必要がある場合には、総合的な観点からA、B、C、D、Eの5段階に判定する。

## 4 主な課題と今後の対応方針

目指す姿	課題（戦略の目標達成に向けた課題など）	今後の対応方針（重点的・優先的に取り組むべきこと）
1	経営革新計画の承認件数は県内企業活動の活発さを示すものと言えるが、目標件数に比べ低調となっている。 など	複数年度にわたるハード・ソフトへの助成と伴走支援により、地域経済の底上げや好循環に大きな役割を果たす地域のリーディング企業を創出し、県内企業の生産性向上や企業価値の向上等の活性化を図る。 など
2	本県の情報関連産業が全国に占める割合は、売上高・従業員数共に極めて低い状況にある。 など	自らの強みを生かして経営基盤の強化や事業規模の拡大を図る企業の取組を支援することにより、デジタル化・DXの推進を牽引する企業の育成を図る。併せて、県内ICT企業と学生との接触機会を増やす取組により、次世代を担うデジタル人材の確保・育成を進める。 など
3	自動車関連産業の低迷等の影響を受け、非鉄金属のリサイクル関連事業者の製造品出荷額が大幅に減少している。 など	使用済みプラスチックの情報プラットフォーム構築やリチウムイオン電池の回収・処理等に係る調査等、資源の効率的な回収・処理を支援する。また、リサイクルに係る設備投資や試験研究等を助成する。 など
4	有効求人倍率は高水準で推移しているが、若年層の県外流出が続いている。 など	若者等が秋田で働くことにつながる魅力的な雇用の場を確保するため、今後も成長が見込まれる産業（輸送機関連、新エネ関連、情報関連等）を主軸としつつ、IoTやAIを利活用する先進的なスタートアップ企業も対象として誘致活動を行う。また、洋上風力発電等の再生可能エネルギーの活用を見据えた再エネ工業団地の整備とPRを進めていく。 など

※課題と今後の対応方針の各施策の詳細については、施策評価調査を参照

## 5 政策評価委員会の意見

自己評価の「C」をもって妥当とする。
--------------------